

どうかんがえる?

Part 2

衆議院解散総選挙 2026

DO THINK

無責任! 一貫性のない高市首相の発言

『日本経済新聞』2026年1月19日付〔電子版〕は、「消費税減税、首相発言が一転「即効性ない」→「悲願」と積極姿勢に」との記事を掲載しています。

消費税率の引き下げについて、同『日本経済新聞』は高市首相の発言が以下のように変わっていることを紹介しています。

飯島 滋明

名古屋学院大学教授
憲法学・平和学

高市首相の発言の変遷

「国家の品格として、食品の消費税率は0パーセントにすべき」(2025年5月)

「党内で練り直してみることも必要だ」(2025年9月)

「選択肢として決して排除するものではないが、すぐに対応できることをまずは優先したい」(2025年10月)

「事業者のレジシステムの改修などに一定の期間がかかる」(2025年11月参議院本会議)

「物価高対策として即効性がない。税収が安定しているし、特定の層に負担が集中することもない」(2025年12月)

そして衆議院選挙が近くなり、多くの政党が消費税減税を公約にすると、「2年間に限り消費税率を0%にするものの検討を加速する」と発言を変えました。

首相在任中、岸田文雄氏は「検討する」と答弁しながら実行しなかったため、「検討使」と言われました。高市氏の発言も変わりすぎではないでしょうか? 実行する気もないのに選挙で票を得るための発言であれば、はじめから国民をだますつもりで悪質な選挙公約です。

高市首相の発言は統一教会との関係でも問題になっています。2026年1月29日に発売された『週刊文春』でも「政治資金規正法違反が続々 高市事務所裏帳簿を入手! 統一教会と逮捕社長のパー券購入を隠蔽していた」との記事が掲載されています。2022年8月14日、高市氏はX(旧ツイッター)で「選挙応援無し。行事出席無し。金銭のやり取り無し」とコメントしています。

高市氏は統一教会との関係について十分説明すべきではないでしょうか。

1 1月23日、佐藤啓官房副長官は、妻が統一教会の「応援集会」に参加していたことを認めました。2022年7月8日、奈良県内で安倍晋三元首相は佐藤啓氏の応援演説に来て、殺害されました。佐藤啓氏本人が出席できないため、統一教会の集会には妻が代理として参加したのです。その佐藤氏を高市氏は重用しています。自民党は統一教会と関係している議員を公認候補にしています。自民党が勝てば、統一教会と密接な関係を持つ国会議員が多く復活します。

2 高市早苗事務所のパーティー券を統一教会が購入していたとの『週刊文春』の報道に関して、SNSでは「普段威勢の良いことを言う高市さんが統一教会の問題になるとダンマリする理由がこれです。普段外国の脅威を散々騒いでいる高市支持者の方々もなぜダンマリ決め込むのでしょうか? こういう時こそ愛国精神発揮すべきだと思いますよ?」などのコメントが多く寄せられています。1月31日段階このコメントに「共感した」は4.9万人です。

3 2月1日、NHK「日曜討論」(日曜午前9時)が一時、ネット上のトレンドワードのトップになりました。当初生出演する高市首相が急きょ、欠席したためです。しかしその日の午後には愛知と岐阜に応援演説に行きました。「目と鼻の先のNHKキャンセルするほどの負傷? 箇所悪化なら、同日での遠方稼働もキャンセルがごく普通の状況なはず。都合の悪い質問から逃げているのは明らか」、「威勢のいいことは言うが、劣勢になるとすぐに逃げ出す」とのコメントにあふれています。



戦争をさせない
1000人委員会
Anti-War Committee of 1000

増税・軍拡に
NO!

くわしくは <http://www.anti-war.info/shomei/>

平和といのちを大切にする
政治へと変えるため、
署名へのご協力を!

